



鎌ヶ谷市

# 郷土資料館 だより



第71号



○縄文人の生活ウォッチングを開催……………1  
○郷土資料館この一品⑳……………3

○令和7年度の事業予定……………2・3  
○史料整理の現場から⑳……………4



## 火おこし体験

郷土資料館子ども講座

### 縄文人の生活 ウォッチング



この講座では、縄文時代の人々がどのような暮らしをしていたかを、実際の資料や火おこし体験から学んでいきます。



鎌ヶ谷から出土した本物の縄文土器にさわられます

**対象** 小学校3年生～中学2年生  
**内容** 縄文土器にふれる、火おこし体験(屋外)  
**日時** 6月28日(土)・29日(日)  
①午前9時45分～10時45分  
②午前11時～正午  
③午後1時15分～2時15分  
④午後2時30分～3時30分  
のいずれかを選択

**場所** 郷土資料館  
**定員** 各回6人(応募者多数の場合は抽選)  
**費用** 無料  
**服装** 動きやすく汚れてもよいもの(熱や摩擦に弱い生地 of 衣服は避けてください)

**申し込み** 6月1日(日)午前9時から6月18日(水)午後5時の間に、右の申し込みフォーム(二次元コード)から申し込んでください



申し込みフォーム

# 郷土資料館 令和7年度の事業予定

今年度、郷土資料館で予定している各事業を紹介します。  
なお、各事業の内容・開催日等は、変更になる場合もあります。  
詳細は、その都度「広報かまがや」や市ホームページなどでお知らせします。

## 展示部門

### ①【昭和100年記念企画】第30回ミニ展示 「終戦80年 後世に伝えたい鎌ヶ谷市民の 戦争関係資料～近年の調査から～」

令和7年は1926年の「昭和元年」から数え100年目に当たります。そこで、郷土資料館ではこれを記念して、今年度1年間を通して『昭和100年記念企画』と題し各種事業を展開していきます。

まず第1弾は、第30回ミニ展示「終戦80年 後世に伝えたい鎌ヶ谷市民の戦争関係資料～近年の調査から～」です。今年は、太平洋戦争終戦から80年目を迎える節目の年です。そこで、近年調査・収集した歴史資料と市内に残された戦跡を中心とした展示を開催します。

また、同時期に行う収蔵資料展示では、国民学校の教科書や関連資料の展示を行います。なお、開催期間中にギャラリートークも行いますのでお楽しみに！

期間 7月19日(土)～9月28日(日)



第28回ミニ展示のギャラリートーク

### ②新資料展示「新発見！鎌ヶ谷のたからもの」 令和6年度の調査によって確認・発見した

埋蔵文化財や、歴史・民俗資料、写真資料などを紹介します。

期間 10月25日(土)～8年1月25日(日)

### ③第31回ミニ展示「交差するまち、鎌ヶ谷」

2016年に開催した企画展「交差するまちへー鎌ヶ谷交通発展史ー」から早10年。そこでこのミニ展示では、鉄道を中心とした交通の変化と、市域の発展について展示します。

期間 8年3月21日(土)～5月24日(日)

## 教室・講座部門

### ①【昭和100年記念企画】「第1回歴史講演会」

「昭和歌謡」をテーマに外部講師に語っていただきます。

開催日等 調整中

### ②第2回歴史講演会

外部講師による講演会です。テーマや開催日等については調整中です。

### ③クールシェア企画

真夏の昼下がり、一人1台のエアコン使用を控え、涼しい所へ集まり夏を快適に過ごす「クールシェア」。郷土資料館では、今年もこの一環として「レコードで聞く昭和40年代の歌謡曲」などを開催します。

開催日等 調整中

### ④郷土資料館セミナー

「地理的資料でみる房総の歴史」をテーマに、外部講師及び当館学芸員による講座を数回シリーズで開催予定です。詳細については調整中です。

開催時期 7年12月～8年1月を予定

### ⑤春の自然観察会

自然がよく残っている市域の地区を訪ね、

季節の植物や野鳥などに親しみながら楽しく学びます。

開催時期 8年3月を予定

## ⑥おとなのワークショップ

夏休み子ども教室でお馴染みの「まが玉づくり」を行います。

開催日等 調整中

# 子ども教室部門

## ①縄文人の生活ウォッチング

今号1ページをご覧ください。



黒電話に興味津々！

## ②昔のくらしふれあい広場

この講座では、郷土資料館に展示している普段はなかなかふれる機会のない昔の道具に実際にふれたり、使ったりすることができます。

開催日 夏休み中

## ③めざせ！学芸員

博物館における専門職「学芸員」の仕事をプチ体験します。普段は見ることができない郷土資料館のウラ側を見たり、縄文土器の破片の拓本も取ることができます。

開催日 夏休み中

## ④まが玉づくり

大昔の人が身につけていたアクセサリ「まが玉」を作ります。まが玉づくりをとおして、当時の生活に思いをめぐらせます。

開催日 夏休み中

## ⑤あんぎんコースターづくり

大昔の編み方「あんぎん編み」でコースターを作成します。あんぎん編みを体験することで、当時の生活に対する理解を深めます。

開催日 夏休み中

## ⑥子どもワークショップ

子どもワークショップでは、郷土資料館にある写真から少し昔の鎌ヶ谷の様子を学びます。また、実際に昔の道具にふれたり、使ったりすることで当時の暮らしを体験します。

開催日 調整中

郷土資料館  
この一品 29

じょ  
**除**  
そう  
**草**  
き  
**機**

今回紹介する除草機は、かつて鎌ヶ谷市内に谷津田があったころの道具です。現在、市内では生業としての稲作は行われていませんが、関係する道具は数多く残されています。

水田の草取りは、梅雨から真夏にかけて行われ、腰をかかめて行うことから、稲作の中でも最もつらい手作業だったようですが、昭和10年ごろから戦後にかけて使用されたのがこの道具です。

この除草機の木枠を持って稲の間を押し進めることで、先端についた鉄の板が「そり」

の役割をして、後方に付いた二連の歯が回って田の土をかき混ぜ、草を土に混ぜ込むという仕組みでした。

使用方法や歯の状態から「手押し式除草機」や「回転式除草機」と呼ばれることもあります。

現在、稲作は機械化が進んでいますが、鎌ヶ谷で稲作が行われていたころ、この除草機の登場は、それまでの一つ一つ手作業で行っていた重労働から効率化への大きな一歩であったと考えられます。



手押し式除草機

# 史料整理の現場から20

## ふすま下張り文書から発見された新資料1

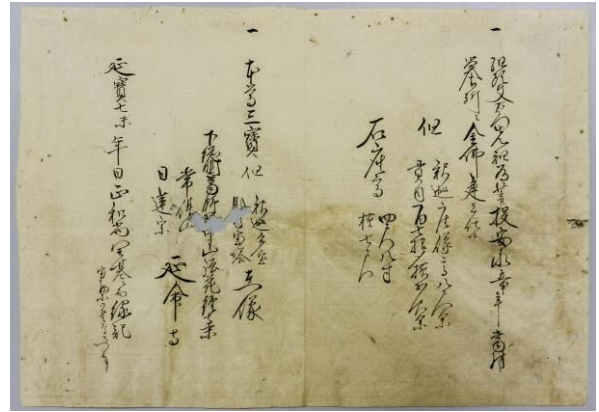
### 鎌ヶ谷村明細帳

郷土資料館では昨年度、市内鎌ヶ谷に所在する国登録有形文化財（建造物）「丸屋」の敷地内から見つかった十数枚のふすまの内、2枚の解体作業を実施しました。古いふすまには、本紙（表紙、ふすま紙）の下地として用いられる「下張り」があります。この下張りには不用とされた「反古紙」と呼ばれる紙が多く使われ、これを「下張り文書」といいます。調査の結果、800点余の文書を確認し、その多くが江戸時代～明治時代初期の鎌ヶ谷村で作成・保存されたものであることが分かりました。今回はこれらの中から、江戸時代に作成された鎌ヶ谷村明細帳の一部をご紹介します。

村明細帳は、一村の概況を書き記した帳簿の総称で、必要に応じて村役人が領主や幕府巡見使に宛てて作成・提出し、村ではその控えや写しなどを保存していました。1枚のふすまに使われていた下張りの層の中に、鎌ヶ谷村の明細帳の一部が9枚ほど残されており、断片的ではあるものの

- ・家数 71 軒
  - ・人数 452 人（男 212・女 240）
  - ・持馬の数 59 疋
- といった村の基本的な情報や、
- ・酒造家 1 軒
  - ・商売家 16 軒（旅籠屋 4・酒屋 3・豆腐屋 2・煙草類 7）
  - ・諸職人 3 軒（大工 1・桶屋 1・家(屋)根屋 1）
  - ・髪結床 1 軒

など、木下街道の宿場町であった鎌ヶ谷村における様々な生業を知ることができます。



鎌ヶ谷大仏や延命寺が記された村明細帳の一部

現段階では、この明細帳を作成した村役人名や、提出先、年代は残念ながら分かっていません。鎌ヶ谷村の明細帳はこれまで、18世紀後半の明和・天明・寛政期のものなど5冊が確認されています。

記載内容をそれらと比べてみると、初見の事項として、野馬方牧士（幕府直轄の馬牧における現地の管理・運営者）を務める家が2軒あることが記されています。また、安永5年（1776）に福田文右衛門が建立した金仏（現在の鎌ヶ谷大仏）や、延命寺について記している箇条も注目されます（写真）。大仏については、「組頭文右衛門先祖為菩提安永五申年当村墓所江金仏建立仕候」「釈迦座像高八尺余（約242.4cm、蓮台を含む高さ）…貫目百七拾貫（637.5kg）」とあります。延命寺について、日蓮宗の本尊（三宝尊像）を記した条で、寺の開基（建立）を鎌ヶ谷宿成立時の寛永年間（1624～44）ではなく延宝7年（1679）としているのは、同年の一本柵新田（現在の中新田地区）成立時に現在地へ移ったことを示すものと思われます。

江戸時代の鎌ヶ谷村に関する史料は非常に少なく、当時の日常的な事象が、こうして下張り文書というかたちで偶然にも残されたことに、深い感慨を覚えます。

鎌ヶ谷市郷土資料館だより 第71号 令和7年6月1日発行 編集・発行：鎌ヶ谷市郷土資料館

住所：〒273-0124 鎌ヶ谷市中央1-8-31 電話：047-445-1030

メール：kyodo@city.kamagaya.chiba.jp FAX：047-443-4502

ウェブサイト：<http://www.city.kamagaya.chiba.jp/sisetsu/kyoudoshiryokan/index.html>

